

施設概要

(令和2年4月1日現在)

施設名 白井駅前公民館 (白井駅前センター内)		開館時間 公民館業務 午前9時～午後9時 児童館業務 午前9時～午後8時 老人憩の家 午前9時～午後5時 出張所業務 午前8時30分～午後5時15分 (開庁日：火・木・土)	
所在地	〒270-1424 白井市堀込1-2-2	併設施設	出張所・児童館・図書室・老人憩いの家・ 白井駅前地域包括支援センター
TEL	047-497-1151	FAX	047-497-1152
メール	shiroiekimae@roukyou.gr.jp		
休館日	月曜日・祝日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	16台
職員構成 30年4月現在	センター長1名 事務職1名 社会教育主事1名 児童厚生員4名 (非)児童厚生員3名 図書司書1名 図書館経験者2名 夜間管理3名 合計16名		
貸出施設	1時間あたりの施設使用料(社会教育認定団体は2分の1)		
	施設名	定員	9:00~21:00 付帯設備
	作法室	36名	350円 座卓10本・鏡台4個 囲碁盤7足付・碁石8セット他
	調理実習室	24名	720円 調理台4台・電子レンジ2台 炊飯器2台・椅子24脚 ガスオーブン4台
	研修室Ⅰ	18名	250円 机6本・椅子18脚
	研修室Ⅱ	24名	250円 机8本・椅子24脚
	視聴覚室	42名	780円 ピアノ1台・テレビ1台 ビデオ1台・DVD1台 ブルーレイ(再生のみ) 椅子35脚・机10本
	レクリエーション ホール	100名	970円 卓球台5台・バドミントン用ネット及び ポール各1個
貸し出し 可能備品	ホワイトボード・スクリーン・可動式DVD・可動式ビデオ		

平成31年度 公民館等団体別利用状況 (白井駅前公民館)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
	月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4	42	859	200	2,216	16	133	7	64	8	68	7	49	280	3,389
5	48	1,026	207	2,512	17	156	8	63	11	129	7	26	298	3,912
6	45	955	218	2,732	19	184	7	66	20	710	11	38	320	4,685
7	54	1,246	218	2,223	18	202	5	37	31	1,140	5	32	331	4,880
8	43	827	164	1,679	10	91	8	90	17	195	11	61	253	2,943
9	51	1,117	212	2,144	16	152	7	120	24	276	8	40	318	3,849
10	52	1,180	184	2,331	14	139	7	79	10	164	6	31	273	3,924
11	49	1,074	203	2,166	19	189	8	85	10	148	12	77	301	3,739
12	51	1,073	204	2,056	15	132	7	66	17	260	7	54	301	3,641
1	47	1,081	201	1,987	18	186	9	116	4	54	6	33	285	3,457
2	52	1,042	188	2,182	17	156	12	121	9	110	5	28	283	3,639
3	48	844	84	648	5	31	8	84	4	21	26	146	175	1,774
合計	582	12,324	2,283	24,876	184	1,751	93	991	165	3,275	111	615	3,418	43,832

平成31年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
研修室 I・II	272	4,957	21.5
研修室 I	410	3,257	27.5
研修室 II	343	3,149	24.8
作法室	556	5,297	36.8
調理室	81	938	12.9
視聴覚室	780	10,593	49.1
レクホール	976	15,641	62.8
合計	3,418	43,832	

平成31年度 白井駅前公民館 事業報告

●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

戦略1「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

戦略2「みどり活用プロジェクト」

- ・みどりが価値を生み出すまちづくり
- ・みどりがつながるまちづくり

戦略3「拠点創造プロジェクト」

- ・地域拠点がにぎわうまちづくり
- ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

1. 運営方針

平成31年度 白井駅前公民館 運営方針

（1）全体の運営方針

- ・子どもから高齢者・障がい者まで多様な世代が集い学ぶことをきっかけに、関係をつくり、孤立化を防ぎ、災害時などにも支え合える地域づくり・まちづくりを進める。
- ・地域の小中高等学校とも連携を図り、子どもたちの社会参加を促進し、活躍のできる場を提供していく。

（2）分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①若い保護者への子育て支援を行い、地域全体で子育てを支えるしくみをつくる。 ②同世代の子どもを持つ保護者同士の交友関係を広げ、安心して子育てできる環境をつくる。
青少年教育 (2)	①学年・学区の異なる子どもたちの交流を図る。 ②学習、体験、活動を通して、その技術を身に付けると共に学ぶ楽しさを実感する。 ③講座を通して社会に目を向け、視野を広げる。 ④郷土に愛着を持つ。 ⑤地域の小中学校と連携を図り、子どもたちの社会参加につなげる。

成人教育 (3)	①生涯学習の楽しさや意義を学ぶ。 ②講座を通して（世代間）交流を図る。 ③地域を支え、繋げて行く担い手を育成する。 ④日々の暮らしを充実させ、地域を支えるしくみをつくる。 ⑤ひきこもり状態にある若者と、その家族の社会参加を支援する。
団体育成 (4)	①学習成果を通して地域の活性化につなげる。 ②自らが得た技術を地域に提供することで団体活動の活力にする。

(3) 平成31年度 重点に実施した項目（講座・事業など）

- ・地域の人財を生かし、次世代向けの講座を数多く実施した。
- ・「ライフサポート講座」の中「8050問題」など社会問題にも取り組んだ。
- ・地域の拠点として、市民や団体、学校等と連携を図りまちづくりに繋げた。
- ・環境やみどりをテーマにした「GREEN FES!」では、音楽活動を通して国連が推奨しているSDGsを楽しみながら学ぶことができた。

2. 白井駅前公民館 講座等実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	参加人数
家庭教育 (1)	Baby time (児童館共催)	①② 7回	延べ72人
	チビちゃんポケット (児童館共催)	①② 7回	延べ56人
	子育てサロン (児童館共催)	①② 3回	延べ143人
青少年教育 (2)	トライアカデミー ～ものづくり教室～ (定期講座・児童館・憩いの家共催)	①② 10回	20人
	ジョイキッズ (児童館共催)	①②③ 4回	延べ35人
	ものがたりクリエイター (定期講座・児童館共催)	①②④ 13回	2人
	子ども工作教室 (児童館共催)	①② 1回	18人
	子どもクッキング (児童館共催)	①② 4回	延べ39人
	子ども卓球教室 (児童館共催)	①②⑤ 1回	6人
	子ども将棋教室 (児童館共催)	①② 1回	12人

成人教育 (3)	バンドチャレンジ講座2 (定期講座・児童館・憩いの家共催)	①②③	16回	延べ136人
	バンドチャレンジ講座3 (定期講座・児童館・憩いの家共催)	①②③	3回	1人
	ベジフルカッティング (定期講座)	①②	2回	8人
	車大好き～第3弾～ (憩いの家共催)	①②	1回	14人
	ライフサポート講座 (憩いの家共催)	①③④⑤	5回	延べ77人
	健康講座・ハロウィーンウォーク～大人の社会見学～ (憩いの家共催)	①②	1回	7人
	ウクレレ講座～初級編～ (定期講座・憩いの家共催)	①②	4回	14人
団体育成 (4)	かんたんお楽しみ手芸 (定期講座・憩いの家共催)	①②	2回	9人
	藍染教室	①②	1回	17人

(2) 講座以外に行った事業

- ・地域懇談会（利用団体連絡会総会）
- ・センターフェスティバル（児童館・憩いの家共催）
- ・駅前サロン ふらっと（児童館・憩いの家共催）
- ・ピクニックルーム（児童館・憩いの家共催）
- ・漢字検定（児童館・憩いの家共催）「GREEN FES!」（憩いの家共催）
- ・白井市第5次総合計画拠点創造プロジェクト
「白井駅前ミュージックフェア ～輪音～」（児童館・憩いの家共催）
- ・駅前ボランティア（憩いの家・児童館共催）
- ・コミュニティファンド～駅前ファンド～（児童館・憩いの家共催）

(3) 情報の提供

- ・センターだより
- ・子育て通信
- ・ブログ掲載
- ・自主事業ポスター掲示
- ・地域情報掲載
- ・利用者の活動ポスター掲示

(4) 施設の提供

- ・地域住民が地域課題に取り組み、交流を図る場の提供

講座・学級学習プログラム

講座名	Baby time (児童館共催)	
対象	2か月～8か月までの子とその保護者	
募集人数	10組	参加人数 延べ72人 (33組)
講座・学級開設の課題と目標	<p>・核家族化で、日中親子だけで過ごし、地域とのつながりも少なく孤立感を持つ、母親が増えていると思われる。</p> <p>・生後2か月～8か月までの乳児と保護者とのふれ合い遊びや茶話会を通し、親子のきずなを深め、また、親同士の交流を図る。</p>	
学習期間	平成31年4月～令和2年2月	回数 7回
学習場所	児童館 (チャイルドルーム)	
予算	総額: 20,000円 ※うち参加者負担金: 10,000円 内訳: 講師料 0円 その他事業費 20,000円	総額: 15,689円 ※うち参加者負担金: 5,700円 内訳: 講師料 0円 その他事業費 15,689円
講師	児童館職員	
参加者等への指導・援助方法	・参加者みんなが楽しめるよう配慮する。(孤立しないように) ・次回の案内をして参加してもらおう声掛けをする。	
講座・学級開設の成果 (課題や目標に対して)	・ふれあい遊びや手遊びで親子のふれあい時間が持てた。 ・集中して制作を行うことで自分の時間が持て、ストレス解消になった。 ・参加者同士の横のつながりが広がり、情報交換ができた。	
備考		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	4月10日	絵本、すごろく 他 参加人数 6組13人 自己負担金 150円		生後2か月～8か月までの乳児と保護者とのふれ合い遊びや茶話会を通し、親子のきずなを深め、また、親同士の交流を図る。
2	5月22日	フォトフレーム作り 参加人数 4組8人 自己負担金 150円		
3	6月19日	アニマルマラカス作り 参加人数 5組11人 自己負担金 150円		
4	9月18日	オリジナルエコバッグ作り 参加人数 5組10人 自己負担金 300円	児童館職員	
5	10月16日	ハロウィーンの飾り作り 参加人数 5組10人 自己負担金 250円		
6	11月20日	松ぼっくりのサンタ・トナカイ作り 参加人数 6組15人 自己負担金 150円		
7	2月19日	ひな飾り作り 参加人数 2組5人 自己負担金 150円		

講座・学級学習プログラム

講座名	ちびちゃんポケット (児童館共催)	
対象	1歳以上の幼児とその保護者	
募集人数	10組	参加人数 延べ56人 (27組)
講座・学級開設の課題と目標	<p>・少子化の背景の一つとして、最近の都市化や核家族化に加え、地域の人間関係の希薄化等による子育て中の親の育児への不安感や負担感の増大、育児の孤立化があげられる。</p> <p>・集まった親同士が情報交換(育児・生活・あそび・勉強)をしながら、「子育ての輪づくり」や家庭・地域での「あそびの環境づくり」ができるよう支援していく。</p>	
学習期間	平成31年4月～令和2年1月	回数 6回
学習場所	児童館(小学生ルーム)	
予算	総額: 10,000円 ※うち参加者負担金: 6,000円 内訳: 講師料 0円 その他事業費 10,000円	総額: 9,004円 ※うち参加者負担金: 3,100円 内訳: 講師料 0円 その他事業費 9,004円
講師	児童館職員	
参加者等への指導・援助方法	・参加者みんなが楽しめるよう配慮する。(孤立しないように) ・次回の案内をして参加してもらおう声掛けをする。	
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	・親子で制作に取り組むことで、親子の絆が深まった。 ・親同士の情報交換の場ができて、横のつながりが広がった。 ・作ったおもちやで遊び、異年齢交流ができた。	
備考		

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	4月24日	足形アートでこいのぼり 参加人数 3組6人	児童館職員	集まった親同士が情報交換(育児・生活・あそび・勉強)をしながら、「子育ての輪づくり」や家庭・地域での「あそびの環境づくり」ができるよう支援していく。
2	5月29日	ぱたぱたチヨウチヨ作り 参加人数 3組6人		
3	6月26日	わくわくさかなつり 参加人数 4組8人		
4	7月31日	スルスル登るお人形 参加人数 6組14人		
5	11月27日	クリスマスリース作り 参加人数 6組12人		
6	1月22日	節分グッズ作り 参加人数 5組10人		
7	3月18日	中止(感染防止のため)		

講座・学級学習プログラム

講座名	子育てサロン (児童館共催)	
対象	① 2歳以上の子とその保護者 ② 子育て中の保護者 (子ども同伴可) ③ 乳幼児とその保護者、小学生	
募集人数	① 10組 ② 10人 ③ 全体で100名程度	参加人数 延べ143人
講座・学級開設の課題と目標	<p>子育て中は、行動範囲も限られ様々な人との関わりが少なくなりがちである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核家族やひとり親家庭の増加に伴い、気軽に育児の相談をしたり、話題にしたりできず、不安を抱えてしまう傾向にある。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士が交流を図ることで交流関係を広げる。 ・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれの子育ての悩み等を気軽に話したり講師の話聞いたり、子育てに少しでも生かせるようにする。 	
学習期間	令和元年6月～10月	回数 3回
学習場所	視聴覚室、レクホール	
予算	<p>総額： 20,000円</p> <p>※うち参加者負担金： 2,000円 決 算</p> <p>内訳：講師料10,000円</p> <p>その他事業費10,000円</p>	<p>総額： 18,465円</p> <p>※うち参加者負担金： 1,600円</p> <p>内訳：講師料 10,000円</p> <p>その他事業費 8,465円</p>
講師	<p>① 公益社団法人 日本3B体操協会 公認指導者 池富佳恵さん</p> <p>② 一般社団法人 体力メテナンス協会 バランスボールインストラクター 藤村友香さん</p> <p>③ えりな&轟 Duo のみなさん (ゲスト)</p>	
参加者等への指導・援助方法	<p>・参加者同士、和気あいあいと取り組めるようにする。</p>	
講座・学級開設の成果 (課題や目標に対して)	<p>・週末に実施した事で平日少ない父親の参加が見られ、親子でふれあうことができた。</p> <p>・講座後半に茶話会を設けたことで、参加者同士の会話が弾み、心身ともにリフレッシュすることができた。</p>	
備考		

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	6月15日	「踊ろう！歌おう！ パプリカキッズ」 参加人数 34人	池富さん	参加者同士が交流を図ることで交流関係を広げる。 ・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれの子育ての悩み等を気軽に話したり、講師の話聞いたり、子育てに少しでも生かせるようにする。
2	9月14日	「バランスボール エクササイズ」 参加人数 20人	藤村さん	
3	10月27日	親子ライブ 参加人数 89人	えりな& 轟 Duo さん	

講座・学級学習プログラム

講座名	トライアカデミーへのづくり教室～ (定期講座・児童館・憩いの家共催)	
対象	小学3年生～6年生	
募集人数	20人	参加人数 20人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学区・異学年の子ども同士が交流をするきっかけがない。 ・子どもがものづくりに興味を持ち、学習をするきっかけとなる機会が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工作活動を通して、アイデアを具体化する能力と技術を持った創造性豊かな人間形成を図る。 ・常に新しいものづくりに挑戦する気持ちを持つこと。更にチャレンジ精神を養いプラス思考を養う。 ・人と人とのふれあいを通して豊かな心を育てる。 	
学習期間	令和元年5月～令和2年2月	回数 10回
学習場所	研修室Ⅰ・Ⅱ	
予算	<p>総額： 90,000円</p> <p>※うち参加者負担金： 3,500円×20人</p> <p>内訳：講師料20,000円</p> <p>その他事業費70,000円</p>	<p>総額： 90,000円</p> <p>※うち参加者負担金： 3,500円×20人</p> <p>内訳：講師料20,000円</p> <p>その他事業費70,000円</p>
講師	近藤雅昭さん・柿沼晴雄さん・言後良一さん 吉田憲一さん・川上博行さん・龍野宏さん・高地徹郎さん	
参加者等への指導・援助方法	・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。	
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	・工作活動を通して、技術の習得や考え方を養うことができた。	
・人と人とのふれあい、豊かな人間性、社会性が培われた。		
備考		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	5月12日	開講式・手動クレーン 参加人数 20人	近藤さん	学習のねらい ・工作活動を通して、アイデアを具体化する能力と技術を持った創造性豊かな人間形成を図る。
2	6月9日	コンデンサー自動車 参加人数 17人	龍野さん	
3	7月14日	ペットボトル鉄砲 リングロケット 参加人数 18人	吉田さん	
4	8月4日	ゲルマニウムラジオ① 参加人数 16人	柿沼さん	
5	9月8日	ゲルマニウムラジオ② 参加人数 18人	柿沼さん	
6	11月10日	プロペラカー 参加人数 16人	言後さん	
7	12月8日	飛行機佩 参加人数 16人	龍野さん	
8	1月12日	しゅんかん魚つり 参加人数 18人	近藤さん	
9	1月26日	ファイト!おうえん団長 参加人数15人	近藤さん	
10	2月9日	トンテンずもう、修了式 参加人数 17人	近藤さん	

講座・学級学習プログラム

講座名	ジョイキッズ (児童館共催)		
対象	小学生	参加人数	延べ35人
募集人数	15人	参加人数	延べ35人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学区や異学年と交流するきっかけが少ない。 ・貧困国について触れる機会が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小物を作りながら交流を図る。 ・国際交流・貢献に目を向ける。 		
学習期間	令和元年6月～12月	回数	4回
学習場所	児童館 (中高生ルーム)		
予算	総額： 15,000円 ※うち参加者負担金： 10,000円 内訳：講師料 0円 その他事業費 15,000円	決算	総額： 12,250円 ※うち参加者負担金： 10,550円 内訳：講師料 0円 その他事業費 12,250円
講師	児童館職員		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ケガをしないように気をつける。 ・楽しく参加できる雰囲気をつくる。 		
講座・学級開設の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく小物づくりに取り組むことができました。 ・ゲームも行い、作業をしながら話をするなど、交流できました。 ・各自の作品を作ることが活動の中心だが、寄付を目的とする販売用の作品も作り国際貢献を少しでも意識できたようだ。 		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	6月1日	マカロンポーチを作ろう 参加人数 13人 自己負担金 300円	児童館職員	<ul style="list-style-type: none"> ・小物を作りながら交流を図る。 ・国際交流・貢献に目を向ける。
2	7月13日	エコバッグ作り 参加人数 11人 自己負担金 300円		
3	10月19日	グループでハロウーイン 参加人数 9人 自己負担金 250円		
4	12月7日	革を使って制作 参加人数 2人 自己負担金 400円		

講座・学級学習プログラム

講座名	ものがたりクリエーター（定期講座・児童館共催）		
対象	小学1年生～高校3年生	参加人数	2人
募集人数	—	参加人数	2人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・ものがたりをグループワークスタイルで創作し、表現活動として発表する機会が少ない。</p> <p>・郷土に関心を寄せる機会が少ない。</p> <p>・ものがたりを読む、聞く、創る、演じる等のパフォーマンスを通して表現の大切さを学びながら他者理解も深められる様にする。</p> <p>・白井市に関心を持てる様にする。</p>		
学習期間	平成31年4月～令和2年2月	回数	11回
学習場所	児童館（中学生ルーム）		
予算	総額：5,000円 ※うち参加者負担金：1,800円 内訳：講師料 0円 その他事業費 5,000円	決算 総額：5,093円 ※うち参加者負担金：300円×2人 内訳：講師料 0円 その他事業費 5,093円	
講師	児童館職員、図書職員		
参加者等への指導・援助方法	・堅苦しい雰囲気にならないよう留意する。 ・楽しくテンポ良く進め、次回に期待がもてる様な内容にする。		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	・異学区、異学年の小学生2人が意欲的に取り組み、フェスティバルに間に合う様に仕上がったが、発表が中止（感染予防のため）になり残念だった。 ・白井市についてのエッセンスをもう少し盛り込みたかった。 ・参加者は小学校低学年だったが、キャラクターや物語を一緒に組み立て完成形までつくりあげることができた。 ・自らの創造性を“ものがたり”として表現できた2人の可能性が楽しみである。		
備考			

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	4月20日	自己紹介、図書クイズ 参加人数 1人	児童館職員 図書職員	学習のねらい ・堅苦しい雰囲気にならないよう留意する。 ・楽しくテンポ良く進め、次回に期待がもてる様な内容にする。
2	5月18日	川柳、キャッチコピー 参加人数 2人		
3	6月29日	あかさたなたいそう プレーメンのおんがくたい 参加人数 2人		
4	7月20日	プレーメンのおんがくたい 参加人数 2人		
5	8月3日	出合いの場面、物語の山場を 考える 参加人数 2人		
6	9月7日	場面整理 参加人数 2人		
7	11月10日	場面整理 参加人数 1人		
8	11月30日	最終調整 参加人数 2人		
9	12月21日	最終調整・役決め 参加人数 2人		
10	1月18日	最終調整 参加人数 2人		
11	2月15日	通し練習 参加人数 1人		

講座・学級学習プログラム

講座名	夏休み子ども工作教室（児童館共催）	
対象	小学3年生～6年生	
募集人数	15人	参加人数 18人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工作について、アイデアや技術がわからず敬遠しがちな子どもがいる。 ・ ものを創造する喜びや人とのふれあいが少ない子どもがいる。 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工作活動を通して、ものづくりの技術を持った創造性豊かな人間形成を図る。 ・ 人と人とのふれあいを通して豊かな心を育てる。 	
学習期間	令和元年7月	回数 1回
学習場所	研修室Ⅰ・Ⅱ	
予算	総額： 10,000円 ※うち参加者負担金： 150円×15人 決算 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 5,000円	総額： 9,327円 ※うち参加者負担金： 150円×18人 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 4,327円
講師	日本おもちゃ病院協会 近藤雅昭さん	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。 	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細かな工夫やコツを講師に教えてもらいながら、楽しく工作ができた。 ・ ものを作る喜びや、でき上った達成感を得ることができた。 ・ 他地域の子との交流、講師たちとのふれあいができていた。 	
備考		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	7月26日	手動クレーンを作ろう 参加人数 18人	近藤さん	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工作活動を通して、ものづくりの技術を持った創造性豊かな人間形成を図る。 ・ 人と人とのふれあいを通して豊かな心を育てる。

講座・学級学習プログラム

講座名	子どもクッキング (児童館共催)		
対象	小学3年生～6年生		
募集人数	12人	参加人数	延べ39人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・料理を自分で作るきっかけが少ない。 ・知識や技能が身に付いていない。 ・異学区や異学年と交流するきっかけが少ない。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・料理に関心を持ち、自分でも作れる知識と技能を身に付ける。 ・異年齢の参加者と交流する。 		
学習期間	令和元年5月～令和2年2月	回数	4回
学習場所	調理室		
予算	総額： 25,000円 ※うち参加者負担金： 10,000円 内訳：講師料 0円 その他事業費 25,000円	決算	総額： 23,646円 ※うち参加者負担金： 15,100円 内訳：講師料 0円 その他事業費 23,646円
講師	児童館職員		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者みんなが楽しく協力して調理できるようにする。 ・ケガをしないように気をつける。 		
講座・学級開設の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は、料理に興味のある子が多く、包丁も上手に使うことができた。 ・子どもが好きなメニューだったので、喜んで作っていた。 ・異学区、異年齢の子と協力しながら調理することができた。 ・参加人数が少ない日があり、来年度は学年を少し下げて募集したい。 		
備考			

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	5月25日	ちらし、みそ汁、イチョゴ大福 参加人数 10人 自己負担金 500円	児童館職員	<ul style="list-style-type: none"> ・料理に関心を持ち、自分でも作れる知識と技能を身に付ける。 ・異年齢の参加者と交流する。
2	8月1日	焼きそば、チョコレートパフェ 参加人数 15人 自己負担金 300円		
3	12月14日	イチョゴのツリー・サンタ クリムシチュー 参加人数 7人 自己負担金 400円		
4	2月1日	かんたんアイデアピザ・ チョコブラウニー 参加人数 7人 自己負担金 400円		

講座・学級学習プログラム

講座名	子ども卓球教室 (児童館共催)		
対象	小学4年生～6年生		
募集人数	15人	参加人数	6人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・卓球を学びたいが、教えてくれる機会がない。</p> <p>・異学区、異学年の子ども同士が交流するきっかけがない。</p> <p>目標</p> <p>・体験活動を通して、その技術を身に付けると共に学ぶ楽しさを実感する。</p> <p>・学年、学区が異なる子どもたちの交流を図る。</p>		
学習期間	令和元年8月	回数	1回
学習場所	レクホール		
予算	総額： 5,000円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 5,000円	決算	総額： 3,700円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 3,700円
講師	卓球クラブ 「シロイーネ」		
参加者等への指導・援助方法	<p>・ケガのないように気をつける。</p> <p>・楽しく参加できる雰囲気をつくる。</p>		
講座・学級開設の成果 (課題や目標に対して)	<p>・子どものレベルに合わせて、マンツーマンで丁寧な指導があり、子ども達の満足度も高かった。</p> <p>・いろいろな練習メニューを重ねるうち、声も出るようになり少しずつ交流できるようになった。</p>		
備考			

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	8月3日	ラリー他 参加人数 6人	卓球クラブ シロイーネ	・体験活動を通して、その技術を身に付けると共に学ぶ楽しさを実感する。 ・学年、学区が異なる子どもたちの交流を図る。

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	8月2日	対局 参加人数 12人	高柴さん	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく対局できるようにする。 参加者同士、交流できるように声掛けする。

講座・学級学習プログラム			
講座名	子ども将棋教室（児童館共催）		
対象	小学生	参加人数	12人
募集人数	10人	参加人数	12人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 将棋をする機会が少ない。知識や技能を、どう得るかわからない。 異学区や異年齢と交流するきっかけが少ない。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> 将棋に興味を持ち、知識と技能を身に付ける。 異年齢の参加者と交流する。 		
学習期間	令和元年8月	回数	1回
学習場所	児童館（中高生ルーム）		
予算	総額：7,000円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 2,000円	決算	総額：6,584円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 1,584円
講師	白井駅前囲碁愛好会 会長 高柴昌三さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく対局できるようにする。 参加者同士、交流できるように声掛けする。 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 将棋の知識や技能が高まった。 初めて会った参加者と対局し、交流できた。 		
備考			

講座・学級学習プログラム

講座名	バンドチャレンジ講座2（定期講座・児童館・憩いの家共催）		
対象	小学4年生以上	参加人数	延べ136人
募集人数	—		
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バンドに挑戦したいが、教えてもらう人も場所も楽器もない。 ・音楽を披露する場が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を通して世代間交流を図る。（白井市第5次総合計画～拠点創造プロジェクト～） ・音楽で地域活性化を図る。 		
学習期間	平成31年4月～令和元年12月	回数	16回
学習場所	視聴覚室・レクホール・憩いの家		
予算	総額：10,000円 ※うち参加者負担金：1円 内訳：講師料 0円 その他事業費 10,000円	総額：6,923円 ※うち参加者負担金：1円 内訳：講師料 0円 その他事業費 6,923円	決算
講師	鳥集さん・石井健一さん・折山光男さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・機材が重いのでケガに気をつける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性が揺れないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・バンドチャレンジ講座が好評だったため、2期目を開催。 ・バンドを結成していく過程で多感な中高生の心の成長にも寄与してくれた。 ・参加者も講師も市民がメインで活躍する市民力あふれる講座となっている。 ・音楽活動を通して参加者同士の絆も更に深まった。 ・輪音に参加し中高生から高齢者までまわづくりに貢献できた。 ・イベント後も継続して取り組み、受験生は勉強の励みにし、子育て中のママは子どもに頑張る姿を見せ達成感を得られた。 		
備考	平成31年1月からの継続事業		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	4月6日	パート練習、試奏、自主練習 参加人数 8人	鳥集さん 石井さん 折山さん	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を通して世代間交流を図る。（白井市第5次総合計画～拠点創造プロジェクト～） ・音楽で地域の活性化を図る。
2	4月20日	パート練習、試奏、自主練習 参加人数 8人		
3	5月11日	試奏、自主練習 参加人数 7人		
4	5月25日	試奏、自主練習 参加人数 6人		
5	6月8日	試奏、自主練習 参加人数 7人		
6	6月15日	試奏、自主練習 参加人数 7人		
7	6月22日	リハーサル 参加人数 7人		
8	7月7日	パート練習、試奏、自主練習 参加人数 7人		
9	7月13日	パート練習、試奏、自主練習 参加人数 8人		
10	7月20日	パート練習、試奏、自主練習 参加人数 8人		
11	7月21日	GREEN FES！参加 参加人数 8人		
12	8月17日	自主練習 参加人数 7人		

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
13	9月21日	自主練習 参加人数 6人		・音楽活動を通して世代間交流を図る。(白井市第5次総合計画～拠点創造プロジェクト～)
14	10月19日	自主練習 参加人数 7人		・音楽で地域の活性化を図る。
15	11月16日	自主練習 参加人数 3人		
16	12月21日	ファミリーコンサート 参加人数 32人		

講座・学級学習プログラム

講座名	バンドチャレンジ講座3 (定期講座・児童館・憩いの家共催)		
対象	中学生以上		
募集人数	—	参加人数	1人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バンドに挑戦したいが、教えてくれる人も場所も楽器もない。 ・音楽を披露する場が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を通して世代間交流を図る。(白井市第5次総合計画～拠点創造プロジェクト～) ・音楽で地域活性化を図る。 		
学習期間	令和2年2月	回数	1回
学習場所	視聴覚室・レクホール・憩いの家		
予算	総額： 50,000円 ※うち参加者負担金： 3,000円×10人 内訳：講師料40,000円 その他事業費10,000円	総額： 19,690円 ※うち参加者負担金： 3,000円×6人 内訳：講師料 一円 その他事業費19,690円	決算
講師	鳥集徹さん・石井健一さん・折山光男さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・機材が重いののでケガに気をつける。 ・仲間づくりにより重点を置くことで方向性が揺れないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 		
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・初回は参加者の都合で高齢の男性1名だったが、楽器経験者だったのでセッションも行った。 ・「バンドチャレンジ講座2」に参加した中学生も、進路が決まりまた参加してくれる。 ・2回、3回目は、コロナ対策で中止になってしまったので、残念である。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度6月から再スタートし、12月19日まで続ける予定。 		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	2月15日	講師紹介・自己紹介 演奏 参加人数 1人	鳥集さん 右井さん 折山さん	学習のねらい ・音楽活動を通して 世代間交流を図 る。(白井市第5 次総合計画～抛 点創造プロジェ クトへ) ・音楽で地域の活性 化を図る。
2	2月29日	中止 (感染防止のため)		
3	3月14日	中止 (感染防止のため)		

講座・学級学習プログラム

講座名	ベジフルカレッジ (定期講座)		
対象	一般		
募集人数	8人	参加人数	8人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・高齢になっても毎日の食事を楽しめるように、又、食べやすくカットする技術を家の近くで学びたい。</p> <p>・ベジフルカレッジの知識と技術を身に付け、創作を楽しむ。</p> <p>・地域の方の交流の場とする。</p>		
学習期間	令和元年8月～9月	回数	2回
学習場所	研修室 I・調理室		
予算	総額：20,000円 ※うち参加者負担金： 2,000円×8人 内訳：講師料10,000円 その他事業費10,000円	決算	総額：19,219円 ※うち参加者負担金： 2,000円×8人 内訳：講師料10,000円 その他事業費 9,219円
講師	日本野菜ソムリエ協会認定 ベジフルカレッジ・プロフセッション 武 ふみ子さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> 参加者みんなが楽しく参加できるようにする。 ケガをしないように気をつける。 		
講座・学級開設の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> 1回目は、基本的なペティナイフの使い方や手の動き等を中心に、フルーツカッブ、りんごの風車といった比較的易しいカッティングを習得できた。 2回目は、フルーツのバラやフルーツバスケット等、見た目にも美味しいものを中心に9種類のカッティングを学ぶことができた。 「家でもやってみた。」「おもてなしの場でやってみる。」という声が多かった。 果物を単に切って食べるだけでなく、技術習得に満足されていて、他地域からの参加者も多く、交流できた。 		
備考			

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	8月29日	フルーツのカッティング 参加人数 8人	武さん	<ul style="list-style-type: none"> ベジフルカッティングの知識と技術を身に付け、創作を楽しむ。 地域の方の交流の場とする。
2	9月26日	フルーツのカッティング 参加人数 8人		

講座・学級学習プログラム

講座名	車大好き～第3弾～(嬉しいの家共催) ～世界を舞台に駆けめぐるチームメカニックとは！？一体感とプライドの勝負！アジアクロスコントララリー、ここだけの話～		
対象	一般		
募集人数		参加人数	14人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> 普段、館利用の無い方々対象の新しい事業が必要である。 趣味を通じて交流を図り、生きがいづくりを目指す。 地域、他地域どうしのつながりを強める。 		
学習期間	令和元年11月	回数	1回
学習場所	駐車場・憩いの家		
予算	総額：10,000円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費10,000円	決算 総額：9,628円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 9,628円	
講師	学校法人中央技術学園(専) 中央自動車大学校 副校長 小谷秀則さん 企画推進部入学広報室長 松本明俊さん 1級コース主任 呉藤崇さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> 駐車時等、事故に気をつける。 和気あいあいと活動できるように配慮する。 展示車に傷がつかないように配慮する。 		
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> 企画段階より参加者が積極的に協力してくださった。 地域の教育機関と連携して行うことができた。 普段、館利用の無い方々が訪れた。また、昨年のリピーターが楽しみにして下さっていた。 雨だったので、天候に左右されない企画を展開する必要がある。 		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	11月23日	トークセッション、交流会 参加人数 14人	小谷さん 松本さん 呉藤さん	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味を通じて交流を図り、生きがいづくりを目指す。 ・地域、他地域の方どうしのつながりを強める。

講座・学級学習プログラム

講座名	ライフサポート講座（憩いの家共催）		
対象	一般		
募集人数	① 25人 ② 20人 ③ 30人	④ 20人 ⑤ 20人	参加人数 延べ77人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な悩みを抱えている市民が多い。 ・高齢者が孤立化してしまう。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の困りごとの解決や情報の提供を行い、心身共に豊かなライフを目指す。 		
学習期間	令和元年7月～11月		回数 5回
学習場所	研修室Ⅰ・Ⅱ		
予算	総額：30,000円 ※うち参加者負担金：一円	決算	総額：26,698円 ※うち参加者負担金：7,300円 内訳：講師料15,000円 その他事業費11,698円
講師	<ul style="list-style-type: none"> ① ユニ・チャーム株式会社 梅林真紀さん ② 公益社団法人 日本3B体操協会公認指導者 池富佳恵さん ③ 東京都就労支援アトバイザー 阿部達明さん ④ 社会福祉士 古澤肇さん 司法書士 岩佐博行さん ⑤ 高齢者福祉課職員 		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・講座に集中できるように配慮する。 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の様々な困りごとに取り組み、解決するきっかけづくりに繋がった。 ・ひきもり「8050問題」は、市の後援をもちい都市内より講師を招き社会問題に取り組んだ。 ・心身の健康のため、多角的に講座を組み立てた。 		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	7月12日	軽い尿漏れとセルフケア 参加人数 22人 自己負担金 1000円	梅林さん	学習のねらい ・生活の困りごとの解決や情報の提供を行い、心身共に豊かなライフを指す。
2	7月19日	3B体操 大人だってパプリカダンス 参加人数 11人	池富さん	
3	7月25日	地域で学ぼうひきこもり ―「8050問題」共倒れを防ぐために― 参加人数 10人 自己負担金 2000円	阿部さん	
4	10月21日	初めての成年後見 参加人数 11人 自己負担金 3000円	古澤さん 岩佐さん	
5	11月8日	「白井市終活支援ノート」 の書き方を知ろう。 参加人数 23人	高齢者 福祉課 職員	

講座・学級学習プログラム

講座名	ハロウィンウォーク～大人の社会見学～（強いの家共催）	
対象	一般	
募集人数	10人	参加人数 7人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所が新庁舎になったが1階しか行ったことがない。 ・団塊世代（特に男性）における地域コミュニティ参加が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士、交流を図る。 ・公共施設に立ち寄り、施設や存在意義を理解する。 ・（歩ける人は）ウォーキングしながら目的地に向かうことで、健康意識を持つ。 	
学習期間	令和元年10月	回数 1回
学習場所	館外・消防署・白井市役所	
予 算	<p>総額：10,000円</p> <p>※うち参加者負担金：500円×10人 決 算</p> <p>内訳：講師料 0円</p> <p>その他事業費 10,000円</p>	<p>総額：8,031円</p> <p>※うち参加者負担金：500円×7人</p> <p>内訳：講師料 0円</p> <p>その他事業費 8,031円</p>
講 師	(ガイド) 白井市役所生涯学習課 山中さん	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ケガに気をつける。 ・和気あいあいと楽しく参加できるように配慮する。 	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署や警察、まちサポ、市長室、議場など、なかなか訪問できない所を見学することができた参加者の満足度は高かった。 ・市担当課職員から直接話を聴き、質問することもできたので良かった。 ・ガイド役を引き受けてくれた市職員の気遣いや配慮が講座の充実につながった。 ・天気に恵まれ、行き帰り安全に歩くことができた。 ・市役所の中を一気に見学したので途中休憩すれば良かった。 	
備 考		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	10月23日	消防署、白井市役所見学 参加人数 7人	他	<ul style="list-style-type: none"> ケガに気をつける。 和気あいあいと楽しく参加できるように配慮する。

講座・学級学習プログラム 66

講座名	ウクレレ講座～初級編～（定期講座・憩いの家共催）		
対象	一般		
募集人数	10人	参加人数	14人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ウクレレや音楽活動に関心があってもきっかけを見つけない方がいる。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽活動を通して新たな出会いや交流を広げ、生きがいづくりにつなげる。 		
学習期間	令和2年1月～2月	回数	4回
学習場所	憩いの家		
予算	総額：10,000円 ※うち参加者負担金：800円×10人 内訳：講師料 0円 その他事業費 10,000円	決算	総額：8,206円 ※うち参加者負担金：800円×14人 内訳：講師料 0円 その他事業費 8,206円
講師	ブルースカイのみなさん		
参加者等への指導・援助方法	・参加者どうし、和気あいあいと活動できる様、配慮する。		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 講師よりウクレレを持っていない方への貸出があり、練習環境が整っていた。 学習時のテーブル配置をグループ毎にしたことで参加者同士、和気あいあいと取り組んでいた。 		
備考			

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等 名称説明、3コード 他 参加人数	講師	学習のねらい
1	1月15日	14人	ブルースカイ のみなさん	学習のねらい ・音楽活動を通して新たな出会いや交流を広げ、生きがいづくりにつなげる。
2	1月22日	他 13人		
3	1月29日	他 11人		
4	2月5日	他 12人		

講座・学級学習プログラム

講座名	かんたんお楽しみ手芸（定期講座・憩いの家共催）		
対象	一般		
募集人数	10人	参加人数	9人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手芸、リメイク等に関心があってもきっかけが見つけれない方がいる。 ・日常の暮らしを彩る様々な技能を高める。 ・参加者同士が交流を図ることで交流関係を広げる。 		
学習期間	令和元年5月	回数	2回
学習場所	研修室I		
予算	総額：15,000円 ※うち参加者負担金：1,000円×10人 内訳：講師料10,000円 その他事業費 5,000円	決算	総額：13,798円 ※うち参加者負担金：1,000円×10人 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 3,798円
講師	落合 嘉子さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士、和気あいあいと取り組めるようにする。 ・誰でも話しやすくなるような雰囲気づくりを心がける。 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ネクタイをリメイクすることで素敵なネックレスができた。 ・技能を高め、制作の楽しさが広がった。 ・ふだんあまり針を持ったことがない方も、ネックレスを何本も作り上げ、喜んでた。 ・参加者同士交流し、お互いに持っている品の作り方を聞き、小物作りに興味を持つことができた。 		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	5月16日	ネクタイでネックレス 参加人数 9人		学習のねらい ・日常の暮らしを 彩る様々な技 能を高める。 ・参加者同士が交 流を図ること で交流関係を 広げる。
2	5月30日	編込みのネックレス 他 参加人数 9人	落合さん	

講座・学級学習プログラム

講座名	藍染教室		
対 象	一般		
募集人数	16人	参加人数	17人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が交流する機会が減少している。 ・地域の活動団体が活躍する場が少ない。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・藍染を通して地域住民がふれあい、交流を図る。 ・染める楽しさや作品を作る楽しさを学び、日々の生活を豊かにする。 		
学習期間	令和元年7月	回数	1回
学習場所	調理室		
予 算	総額：15,000円 ※うち参加者負担金： 1,000円×16人 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 10,000円	決 算	総額：14,195円 ※うち参加者負担金： 1,000円×17人 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 9,195円
講 師	白井高校藍染研究会		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・和気あいあいとした楽しい雰囲気の中で活動できる様にサポートする。 ・染料が目に入ったりしない様に、落ち着いて作業を進める。 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・講師が多く、参加者の要望に応えることができた。 ・参加者同士、互いの作品を参考にするなど交流できた。 ・リピーターも初めての方も、藍染の楽しさを味わうことができた。 		
備 考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	7月4日	藍染め 参加人数 17人	白井高校藍染 研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・藍染を通して地域住民がふれあい、交流を図る。 ・染める楽しさや作品を作る楽しさを学び、日々の生活を豊かにする。

事業活動

事業名	地域懇談会（利用団体連絡会総会）	
対象	一般	
参加人数	33人	
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当館利用者同士、交流を図る場が少ない。 ・地域課題の掘り起こしが必要。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各サークルや地域住民同士、コミュニケーションを図り、地域活性化を目指す。 ・当館の事業活動を豊かにしていく。 	
期間	令和元年7月	回数 1回
場所	研修室Ⅰ・Ⅱ	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気に参加できるよう配慮する。 ・荷物管理に気を付ける。 	
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体連絡会に入っている団体だけでなく、日頃館を利用している団体にも呼びかけたので、9団体の参加があった。 ・『社会認定団体を外れたのもうフェスは出ません。』というところがあった。 ・講座への要望や作法室の量の張替えやロビーにエアコン設置希望など、生の声を聴くことができ、応えられるところから取り組む。 	
備考		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月13日	地域懇談会 (利用団体連絡会総会) 29団体33人参加	<ul style="list-style-type: none"> ・各サークルや地域住民同士、コミュニケーションを図り、地域活性化を目指す。 ・当館の事業活動を豊かにしていく。

事業活動

事業名	センターフェスティバル (聴いの家・児童館共催)	
対象	地域住民	
参加人数	—	
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃の学習成果を発表する機会を設け、生涯学習の意義を伝える必要がある。 ・駅前センター利用団体が、日頃の成果を発表することや市民に生涯学習の意義や楽しさを伝える機会とする。 	
期間	令和2年3月	回数 1回 (2日間)
場所	全館	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・ケガに気を付ける。 ・駐車場等の点で、近隣の方に配慮する。 ・参加者や来館者が楽しめる様、サポートしていく。 	
事業の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・参加32団体とともに、運営委員会を作り準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止となり残念である。 ・今年度はポスターも、全体の他に、児童館、「ものがたりクリエイター」(自主事業)と、3種類作成し周知に努めていたのに残念である。 ・突然の事態に、委員長始めみんな理解を示してくれ、混乱もなく中止となった。 	
備考		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月30日	センターフェスティバル ～実行委員会・事前打合せ～ 25人参加	駅前センター利用団体が、日頃の成果を発表することや市民に生涯学習の意義や楽しさを伝える機会とする。
2	2月1日	センターフェスティバル ～実行委員会・事前打合せ～ 37人参加	
3	3月7日、 8日	中止 (感染予防のため)	
4	3月21日	実行委員会 (反省会) 中止 (感染予防のため)	

事業活動

事業名	駅前サロン ふらっと (児童館・憩いの家共催)	
対象	一般	
参加人数	延べ 212人	
事業の課題と目標		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・(高齢者を主体として) 地域住民が気軽に集える場所、機会が少ない。 ・高齢者が活躍できる場所づくりが必要。 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や市民の居場所づくり (白井市第5次総合計画拠点創造プロジェクト)。 ・定期的に行い、市民同士の交流、繋がりを深めてもらう。 	
期間	平成31年4月～令和元年2月	回数 10回
場所	小学生ルーム	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士が交流を持てるよう配慮する。 ・世代間交流が図れるよう配慮する。 ・雰囲気よく過ごせるよう配慮する。 	
事業の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマによって参加者にバラつきがあった。 ・市民が主体となつて行うサロンまで到達できなかつた。 ・昼時に食事の提供がないので、フルにサロンを楽しむまでの人はいなかつた。 ・次年度は、別の形で高齢者や市民の居場所づくりを行っていく。 	
備考		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月10日	みんなで歌おう会 参加人数 15人	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や市民の居場所づくり (白井市第5次総合計画・拠点創造プロジェクト)。 ・定期的に行い、市民同士の交流、繋がりを深めてもらう。
2	5月8日	ゲスト：大正琴「水陽会」 参加人数 24人	
3	6月12日	ゲスト：「ジョイジョイサークル」 ～介護予防～ 参加人数 16人	
4	7月10日	ゲスト：「ユーカーリアンサンブル」 ～演奏会～ 参加人数 25人	
5	9月11日	国宝 参加人数 12人	
6	10月9日	ゲスト：「ジョイジョイサークル」 簡単な体操・脳トレ 参加人数 19人	
7	11月13日	ゲスト：劇団三人 (職員) 朗読、歌、ゲーム 他 参加人数 17人	
8	12月11日	ゲスト：しろい朗読サロン 朗読セラピー 参加人数 35人	
9	1月8日	ゲスト：あいこさん サックス演奏 参加人数 28人	
10	2月12日	ゲスト：「Blue Sky」 ～ウクレレ演奏、歌～ 参加人数 21人	

事業活動

事業名	ビクニックルーム (児童館・憩いの家共催)		
対象	乳幼児親子～一般		
参加人数	延べ86人		
事業の課題と目標			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・親子でゆっくり遊べる時間や情報交換できる機会を増やしたい。 ・地域の方々が安心してゆっくりできる場所がない。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい遊びを通して、親子の絆を深める。 ・保護者同士が交流を図ること、情報交換の場とする。 ・地域の方々の居場所をつくる。 		
学習期間	平成31年4月～令和2年2月	回数	10回
学習場所	小学生ルーム)		
事業参加者等への配慮等			
・参加者同士、和気あいあいと取り組めるように配慮する。			
事業の成果 (課題や目標に対して)			
・幼児親子のふれあいの時間を持つことができた。			
・保護者同士、子ども同士で仲間 (友だち) をつくることができた。			
・地域の方々との交流の場となり、居場所をつくることができた。			
備考			

事業報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	4月17日	イースターエッグさがし 他 参加人数 4人		・ふれあい遊びを通して、親子の絆を深める。 ・保護者同士が交流を図ること、情報交換の場とする。 ・地域の方々の居場所をつくる。
2	5月15日	読み聞かせ 他 参加人数 9人		
3	6月5日	ペープサート 他 参加人数 14人		
4	7月3日	ふれあい体操 他 参加人数 9人		
5	9月4日	くだもの狩りごっこ 他 参加人数 4人	児童館職員	
6	10月2日	ペープサート 他 参加人数 6人		
7	11月6日	ふれあい体操 他 参加人数 8人		
8	12月4日	パネルシアター 他 参加人数 14人		
9	1月15日	サロン 参加人数 5人		
10	2月5日	カードあそび 他 参加人数 13人		

事業活動

講座名	漢字検定（児童館・憩いの家共催）		
対象	一般		
参加人数	86人		
事業の課題と目標	事業の課題と目標 ・向学心旺盛な市民が、実力を試す機会が少ない。 目標 ・生涯学習として取り組み、検定合格を目指す。		
期間	令和元年8月	回数	1回
場所	視聴覚室・研修室Ⅰ・Ⅱ		
事業参加者等への配慮等	・集中できる環境設定を行う。 ・協会との連絡をしっかりとる。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・小学2年生から大人まで86人が挑むことができた。 ・検定中も低学年の子も集中して取り組みことができた。 ・成人は、脳トレにと毎年検定級を上げて受検する人が多い。		
備考			

事業報告

No	月日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	8月21日	漢字検定（10～2級） 参加人数 86人	・生涯学習として取り組み、検定合格を目指す。

事業活動

事業名	白井市第5次総合計画“みどり活用プロジェクト” GREEN FES! (憩いの家共催)		
対象	一般		
参加人数	500人		
事業の課題と目標	<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境やみどりについて、気軽に関心を寄せる機会が少ない。 ・SDGsが浸透していない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白井市第5次総合計画～みどり活用PJ～に基づき、自然や環境等、みどりへの関心を高める。 ・音楽を通して世代間交流を図る。 ・地域の活性化を図る。 ・SDGsを知ってもらう。 		
期間	令和元年7月	回数	1回
場所	レクホール		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・一人でも気軽に参加できる環境、雰囲気づくりに配慮する。 ・機材が重いので、ケガに気をつける。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体、みどりをテーマに参加していただいた。事前の主旨説明を丁寧に行った結果、演目や販売物に意図が反映され、意味深いイベントになった。 ・こちらで声掛けをしなくても、来場者同士でグリーンアイテムを身に付けようという動きも見られ、一体感が増した。 ・SDGsについても言及することができた。 		
備考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月21日	発表、販売、展示等 参加人数 500人	<ul style="list-style-type: none"> ・白井市第5次総合計画～みどり活用PJ～に基づき、自然や環境等、みどりへの関心を高める。 ・音楽を通して世代間交流を図る。 ・地域の活性化を図る。 ・SDGsを知ってもらう。

事業活動

事業名	白井市第5次総合計画“拠点創造プロジェクト” 白井駅前ミュージックフェア ～輪音～ (児童館・憩いの家共催)	
対象	一般	
参加人数	500人	
事業の課題と目標	<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化時代において、世代や境遇を超えて地域が一体化する機会を設けつながらりを強化する必要がある。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 白井市第5次総合計画“拠点創造プロジェクト”に基づき地域の集いの場をつくる。 ・ 音楽で地域の活性化を図る。 ・ 参加者どうし、交流を図る。 ・ 白井駅のイルミネーションを行っている団体へのチャリティライブとして開催し参加者・来場者が地域理解を深め、地域活性化に関われるようにする。 	
期間	令和元年6月	回数 1回
場所	レクホール・視聴覚室・憩いの家	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場設営時など、機材が重いのでケガに気を付ける。 ・ みんなでつくり上げるイベントになるよう配慮する。 	
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初参加の2バンドも加わり、新しい風が吹いたようであった。 ・ 実行委員形式で行ったが、参加者が各々責任を持って役割を遂行していた。 ・ 活動の中で、交流が図れていた。 ・ 半年間「バンドチャレンジ講座2」で頑張っている参加者の成長がうかがえた。 ・ チャリティも多くの寄付が寄せられ、「輪音」が街に定着してきたと実感する。 	
備考		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月6日	事前打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白井市第5次総合計画“拠点創造プロジェクト”に基づき地域の集いの場をつくる。 ・ 音楽で地域の活性化を図る。 ・ 参加者どうし、交流を図る。 ・ 白井駅のイルミネーションを行っている団体へのチャリティライブとして開催し参加者・来場者が地域理解を深め、地域活性化に関われるようにする。
2	6月23日	～ライブ・反省会～ ・ 500人参加 (演奏者・販売、ボランティア含む)	

事業活動

講座名	駅前ボランティア(聴いの家・児童館共催)		
対象	一般		
参加人数	延べ235人		
事業の課題と目標			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多い地域なので、若い世代を交えた地域づくりが必要。 ・市民同士の世代間交流、つながりづくりが必要。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。 		
期間	平成31年4月～令和元2年3月	回数	開館日
場所	全館		
事業参加者等への配慮等			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア精神に感謝し、参加者にも気遣いをわすれない。 ・地域の方々にも、館運営に協力してくれていることを知らせる。 		
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、館周りの花植えや駐車場の清掃の協力者があり、心強い。台風の後も、すぐにきれいに清掃してあった。 ・当館利用のサークルの方が、ロビーにいつも花を飾ってくれ、館の美化に協力してくれ、利用者の目を楽ませってくれた。 ・地域の高齢者クラブ「むつみ会」が秋に館周りの草取りや清掃を行ってくれた。 ・館前の花壇の植替えを年2回行い、明るい地域づくりに寄与してくれた。 ・中学生が、ジュニアリーダーとして小学生の自主事業のサポートをした。 ・今年もたくさんの方が、地域の居場所として館を支えてくれ感謝しかない。 		
備考			

事業報告

No	月日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月	そうじ等 参加人数 延べ11人	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。
2	5月	そうじ等 参加人数 延べ14人	
3	6月	そうじ、イベントサポーター等 参加人数 延べ20人	
4	7月	そうじ、イベントサポーター等 参加人数 延べ60人	
5	8月	そうじ、等 参加人数 延べ9人	
6	9月	そうじ、等 参加人数 延べ34人	
7	10月	落ち葉掃き等 参加人数 延べ26人	
8	11月	そうじ、等 参加人数 延べ28人	
9	12月	そうじ等 参加人数 延べ21人	
10	1月	そうじ等 参加人数 延べ6人	
11	2月	環境整備 参加人数 延べ2人	
12	3月	そうじ、花等 参加人数 延べ4人	

事業活動

講座名	コミュニティファンド～駅前ファンド～(憩いの家・児童館共催)		
対象	一般		
参加人数	—		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の問題、課題を自らの力で解決する意識を住民、利用者が持ち行動に移すことがまちづくりとして必要。 ・市の中心地である駅前商店会が衰退しており、まちづくりとして活性化が必要。 ・館の老朽化・備品不足等、学習環境づくりが必要。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーヒー販売やチャリテイライプ等を通じて自発的に寄付したり、資金を提供し合ったりすることで地域課題を館利用者や地域住民、団体自らが解決する循環システムを構築する。 		
期間	平成31年4月～令和2年3月	回数	開館日
場所	全館		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・館や地域の課題に市民、利用者が自発的に取り組むきっかけづくり、意識作りを行う。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・コーヒーや飲み物の提供をするようになってから、毎日高齢者居場所になっている。 ・サークル等利用する団体もまちづくりのために、注文をしてくれるようになった。 ・コミュニティファンドの輪が広がっている。 ・若者も音楽を通してまちづくりに関心を持ち積極的に協力した。 ・地域の資金を地域の為に活用し、市民利用者による地域活性化につなげることができた。 		
備考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	5月～3月	<p>ロビーCafé 駅前ファンド 協賛金 529,312 円</p> <p>①4/16,6/19 チャイルドルーム 床張替えのため協力 ⇒ 271,200円</p> <p>②8/17 白井駅前商店会（イルミネーション）へ ⇒ 107,232円寄付</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>次年度繰越分 150,880 円</p> </div>	<p>コーヒー販売やチャリテイライプ等を通じて自発的に寄付したり、資金を提供し合ったりすることで地域課題を館利用者や地域住民、団体自らが解決する循環システムを構築する。</p>